

志賀理江子レクチャー

3年前に名取市の北釜に移り住み、作品制作をしながら国内外の展覧会で発表している写真家・志賀理江子さんによる連続レクチャーをおこないます。制作や震災後の活動、来年予定している展覧会についてお話しします。

プログラム

- 第一回 6月12日(日) <イントロダクション：北釜へ>
- 第二回 7月24日(日) <コミュニティの中へー宇宙人だった>
- 第三回 8月7日(日) <オーラルヒストリーー血肉の唄と言葉と身体>
- 第四回 9月25日(日) <触れない、触れられないー思い上がるなという警告の存在達>
- 第五回 10月23日(日) <写真は抗うー拾われた写真、この世の中の99.9パーセントの写真について>
- 第六回 11月6日(日) <イメージ①ー過去・現在・未来から脱する空間への儀式(ゲスト：竹内万里子)>
- 第七回 12月18日(日) <イメージ②ー強烈に明るい場、遠く冷たいまなざしにさらす>
- 第八回 1月22日(日) <消えたか否か未ださめぬー今回の震災について起った事の全て>
- 第九回 2月12日(日) <箱庭ー写真と空間の関係、今回の展示について>
- 第十回 3月18日(日) <北釜を招くー仮設住宅で一緒に生活している人達を招いての会話>

時 間：各回 13時から 15時

場 所：せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア

参加費：無料(申込不要)

定 員：各回 30席程度

*やむをえず内容に変更のある場合がございます。予めご了承ください。

志賀理江子 / Lieko Shiga

1980年愛知県生まれ。ロンドン大学チェルシーカレッジ・オブ・アート卒業。2005年Mio写真奨励賞審査委員特別賞(選:笠原美智子)受賞。2008年、写真集『CANARY』(2007年、赤々舎)、『Lilly』(2007年、アートビートパブリッシャーズ)で第33回木村伊兵衛写真賞を受賞。主な個展に、2001年「浮遊する出来事」(グラフィックギャラリー、大阪)、2003年「明日の朝ジャックが私を見た」(グラフィックメディアジーエム、大阪)、2005年「リリー」(グラフィックメディアジーエム、大阪)、2006年「リリー」(ニュークギャラリー、パリ)、2008年「座礁の記録」(フォトギャラリーエト、オスロ)。主なグループ展に、2004年「ジャック」(映像作品インスタレーション/山口情報芸術センター)、2005年「アートコートフロンティア 2005」(アートコートギャラリー、大阪)、2006年「盗まれた録音機」(エリア28、ベルリン)、「Re;search: オーストラリアと日本のアートコラボレーション」(せんだいメディアテーク、仙台)、「Rapt! 20 contemporary artists from Japan」(セブンスギャラリー、メルボルン)、2008年「トレース・エレメンツー日豪の写真メディアにおける精神と記憶」(東京オペラシティアートギャラリー、東京)、「シンガポールビエンナーレ 2008:ワンダー」(シティ・ホール、シンガポール)、2009年「日本の新進作家展 vol. 7 オン・ユア・ボディ」(東京都写真美術館、東京)、2010年「あいちトリエンナーレ:都市の祝祭」、2011年「アートみやぎ」(宮城県美術館、仙台)、「CANARY」(三菱地所アルティアム、東京)他。

問 ▶ せんだいメディアテーク 企画・活動支援室

〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1

TEL: 022-713-4483 / FAX: 022-713-4482 / E-mail: office@smt.city.sendai.jp

考えるテーブルとは

人が集い語り合いながら震災復興や地域社会、表現活動について考えていく場を「考えるテーブル」と題してオープンスクエアに開きます。トークイベントや公開会議、市民団体の活動報告会など多様な催しを行っていきます。

<http://www.smt.jp/thinkingtable/>

